

# 樹脂製フロートスイッチ

## 木村製作所が量産型

酸・アルカリに  
強い5種準備



継取り付けタイプのポリスルホン製  
フロートスイッチ

木村製作所(大阪府東大阪市、宮坂典英社長)は、容器内の液面を検知する量産型の樹脂製小型フロートスイッチの販売に乗り出す。酸やアルカリに強い5種類の樹脂製品を準備した。OEM(相手先ブランド)生産し、生産能力は月産1万個。価格は1,500~1万円(消費税込み)。計測機器商社を通じ、工作機械や業務用食洗機、人工透析器などに付属する容器の液面測定用途などで販売する。

木村製作所は主にステンレス製のフロートスイッチの販売を行っていたが、低価格帯での量産の樹脂スイッチの製造・販売を手がける。樹脂製に製品の要望に対応し

関しては顧客からの特注で作っていたが、低価格帯での量産の樹脂スイッチの製造・販売を手がける。樹脂製に製品の要望に対応し

た。今後、専用の通販サイトを12月に開設し、販路拡大を目指すとともに、客層データを収集して市場を調査する。

容器内に設置したフロートスイッチは液面が変わることでフロート(浮き)が上下する。この際に設定された液

センサーが反応して信号が伝わりユーザーに

20度C. 繼取り付け  
ポリプロピレン(P  
P)やポリフッ化ビニ  
リデン(PVDF)などの材質、スイッチの取り付け方で5種類のラインアップを準備。容器に入れる溶剤や価格に応じて適切なフロートスイッチを選べる。耐熱温度は80~150度Cの円柱形。

同社はフロートスイッチの専業メーカーで、物質の容量や体積の計測機器を手がける関西オートメイション(大阪市北区)の子会社。